

横浜市小学校社会科研究会

6学年部会

研修会記録

第4号

令和元年

10月30日

横浜市小学校教育研究会

会長 榮 秀之

横浜市小学校社会科研究会

会長 新井 篤志

同 学年部長 杉本 敬之

【提案日時】

9月 4日 (水)

提案 中野 純貴 先生 (西富岡小)

【会場】

横浜市立丸山台小学校

司会 田澤 哲哉 先生 (西が丘小)

記録 板山 涼 先生 (星川小)

【提案】

資料 (ノルマントン号事件の風刺画)

単元を見通す問題

日本はどのようにして不平等条約を改正していったのだろう。

年表



単元計画

中心は

大日本帝国憲法

- ・何を狙っていたか
- ・既習の日本国憲法との相違点から本時へ

伊藤博文

- ・野島の別邸へ見学に
- ・材をより身近に感じられるように

どのような話が聞けそうか

【検討】

○大日本帝国憲法に子どもがグッと入っていくために・・・

前単元から

- ・不平等条約の取扱方を工夫



どうやって改正したんだ??
疑問を引き出す

海外からの視点

- ・岩倉使節団の取扱
- ・当時憲法をもっていた国や憲法をもつことの意義

国力の捉え

- ・大日本帝国憲法でその視点から国力の充実を捉えるか
軍勢力? 経済力? 等々...

<若色先生より>

○政治単元を先に行い、現行の憲法を学んだ子どもたちが大日本国憲法に出会うとどのような考えをもつか、

来年度以降においても興味深い授業になると思う。非常に提案性の高い授業である。

○不平等条約の改正=国力の充実ではない。色々な要素の一つである。単元のゴールを意識していくと、“見通

す問題”は本当にこれでいいのか、“単元の構成”はこれでいいのか、再考することも必要。

文責 板山 涼 (星川 小学校)

発 関口 暁之 (永谷 小学校)